



せせらぎ



長沼小

＜教育目標＞
よく考える子
心豊かな子
明るく元気な子



「笑門来福」笑顔で幸せな年に

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

冬休みが終わり、3学期が始まりました。3学期は50日間（6年生は47日間）と大変短い学期ですが、一年の締めくくりであると同時に、進級・進学のための準備の学期でもあります。自信を持って進級・進学できるよう、次の学年の「0学期」という意識で、現在の学年の学習内容をしっかり身に付け、生活行動面でも1つ上の学年として恥ずかしくない振る舞いができるように支援していきたいと思います。



さて、お正月にする遊びのひとつに「福笑い」があります。福笑いが正月遊びとして定着したのは明治時代頃と言われています。「笑う門には福来たる」ということわざのように、福笑いはできあがった顔のおもしろさから笑顔になれるため、新年の幸せを願って遊ぶようになったそうです。「笑いの絶えない家には自然と幸福が訪れる」という意味のこのことわざですが、実はこれは単なる迷信ではなく、「笑い」を科学的に分析すると、実際に様々な効果があるそうです。具体的には、①脳が働く ②リラックスできる ③幸福感を得られる ④健康になるなどですが、こうした自分自身における効果に加え、⑤周囲が明るくなり人間関係も良くなるという効果もあるそうです。つまり、笑いには自分も周りの人も幸せにする力がある！ということです。

それでは、そのような「笑い」を増やすにはどうしたらよいのでしょうか？例えば、積極的に人と話す、よく笑う人の近くにいる、おもしろいテレビ番組を見るなどが考えられますが、さらに、インターネットで調べてみると、「バンザイ大笑い体操」「笑いヨガ」「爆笑体操」などのワードがヒットしました。これらに共通しているのは、「楽しいから笑う」というよりも「笑うことで楽しくなる」という点です。「笑いは幸福の結果というよりむしろ原因」という言葉があるようですが、まさにそれを具現化したものと言えるのではないでしょうか。



人生には楽しいことや嬉しいこともあります、つらいことや悲しいこともあります。そんな時でも希望を失わず、朗らかに生きていれば幸せが訪れるという意味も、「笑門来福」にはあるような気がします。自分の人生をよりよくするためにも、笑顔でいること、よく笑うことが大切だと思います。

2025年が幸せあふれる一年となるよう、明るく朗らかに前向きに生活し、たくさん笑って福を呼び込みましょう。私も皆さんと一緒にたくさん笑いたいと思います。

第3学期 学級委員

1月15日に任命式を行いました。3学期は令和6年度の締めくくりと令和7年度に向けての準備をする学期です。学級委員を中心に、周りの人の思いやりを忘れず、よりよいクラスづくりをしてください。

| 3年 | 4年 | 5年 | 6年 |
|----|----|----|----|
| | | | |
| | | | |



子どもたちの活動の様子



11/28 1年 中学生との交流



11/28 学校評議員さんと給食



12/4・9 4年 福祉体験活動



12/6 授業参観



12/9・10 和綿畠の後片付け



12/11 人権集会



12/11 6年 バイキング給食



12/13 離任者お見送り



12/18 6年 海外友好都市出前講座



12/19 花の植え付け



12/25 表彰伝達



1/14 3年 社会科見学



1/15 4年 親子ふれあい活動 シャッターゲームやしっぽ取りをした後 親子で一緒に給食

